

おおだて 病院だより

市立総合病院・市立扇田病院

第7号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2012.8

No.7

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1(総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)





市立総合病院
事務局長
あかし しろひこ
明石 和夫

今日の病院は「チーム医療」の充実が重要であり、治療の現場においても医師だけではなく様々な職種のスタッフが、一人の患者さんへの関わりをもって病氣と向き合います。

それぞれの職種の連携や協力体制が整っていて、初めて良質の医療を提供することができます。

私たち事務局職員は直接的に診療行為に関わる部門ではありませんが、医療スタッフが安心して職務に専念できるように陰で支えています。

これから団塊の世代が高齢者になって、患者数はさらに増えることと思います。そうすると病院には効率化や調整力が必須となり、事務部門の重要性はますます高まってくると思います。

そのためにも人と人をつないで、問題を解決していく力が、今後さらに私たち事務部門に求められてくることと思います。

それがこの先、病院にとって試練の時代になった時、病院を支えていく力になればと考えております。



市立扇田病院
事務局長
いしやま まさひこ
石山 昌彦

扇田病院が創立してから104年の歳月が流れ、幾多の先人が病院経営に汗を流してきました。

今、扇田病院は地域に根ざした病院経営を進めております。その例が、4月から実施しています内科、外科を統合し、新しい診療科による患者さんの利便性と待ち時間の緩和、日中働いている人が受診しやすいように「夕やけ診療」の実施、開業医等からの入院紹介を優先的に受け入れ、退院後は元の開業医等の通院へ戻す「セミオープンベット」の実施等であります。

そして、来年度は地域からの要望の多い健診事業（人間ドックを含む）を充実させ、健診率のアップと市民の健康管理に力を入れ地域医療の推進を目指していきたくて思っております。

現在、常勤医師は6人ですが、病院スタッフが力を合わせ、当院の理念であります、地域の皆様の「心の支えとなる病院」を目指してまいりますのでご支援をお願いいたします。

DPC病院のはなし

終

DPC病院と今後の取り組み

DPC委員会 高橋 秀 身(副院長)

皆様のご理解、ご協力により、この4月から当院は「DPC準備病院」を卒業し、いよいよ「DPC病院」の仲間入りを果たしましたことをご報告いたします。

そこでも一度原点に立ち返り、DPC病院の「あるべき姿」を思い起こしてみよう。それには、①急性期医療を担う、②医療の透明化・効率化・質の向上を図る、③社会的機能／役割・地域医療への貢献、という3点が挙げられます。①の急性期医療についてはこれまでにも行ってきたことですが、②の条件については、DPC病院になったおかげでいよいよ具体的なツール（手法）が与えられ、更に今秋の病院機能評価受審のための準備作業と「表裏一体」となって、拍車がかかったように整備が進行中です。もちろんこれらは完了して終わりというものではなく、継続的に病院が努力していくべき本質的な目標でもあります。③については、この地域の関係医療機関とよりいっそうの連携を強化すべく、院長らが協議会等を通じて働きかけを強めているところです。もうお分かりのように、DPCとは単に「診療報酬の計算の仕方が変わる」ことではなく、実は**病院の前進に運営に役立つ総合的なツール**として位置づけられるものであります。

さて、今後の具体的な取り組みについて、いくつか紹介しましょう。DPC病院になって、一番の目標はやは

り診療です。治癒率や5年生存率、再発率、合併症の割合などの**臨床指標**が直接他院と比較できます。同じ成績の臨床指標ならば、どの程度のコストでそれが成し遂げられているか（**治療効率**）ということまで分かるので医師たちのモチベーションにつながりましょう。それからクリニカルパスと、治療の進め方の類型をあらかじめ疾病ごとに決めておくという手法。これは、何より治療の標準化・効率化につながり、医療安全にすら寄与します。DPCとの相性が抜群で、目に見えて改善効果が現れるはずで、ここ数年、当院でも盛んに策定中です。次に、医療資源の節約の問題。一番は何と言っても**ジェネリック医薬品**への切り換えがポイントとなります。これは効果が同等で値段が安い医薬品（開発費が抑えられるので）なのですが、医療側にも患者さん側にも普及はいまいち。多くの理由があるにせよ、本県は全国でも最も普及していない県の一つなので不断の努力が必要です。他に、**診療材料の購入費用**も他院と比較できます。結構大きな額が費やされているので、規格の統一化など一工夫することも求められます。要するに、医療の質を保つこととは、診療コストの節約とは相反する関係にはない、そして診療コストの節約はとりもなおさず医療の価値を高めることにつながるということを、私たちはもつと真剣に意識する必要があります。



整形外科から



整形外科では、外傷（ケガ）、脊椎（せほね、首や腰）の病気、手の外科、肩や膝や股などの関節の病気、骨粗鬆症、がんの骨転移などを主に、医師は4人、看護師は6人で診療しています。午前が外来、午後に手術や検査を行っています。外来の再来診療は予約制で待ち時間を短縮するよう努力しております。新規の患者さんは受付時間を10時までとさせていただきます。というのには、新規の患者さんには、始めに的確な診断をして、これに沿った治療をしたいからです。そのためには、それなりの時間がかかります。ご不便をおかけしておりますがご理解をお願いいたします。

当科の特徴としては、くびの病気（頸髄症）のより正確な診断のため「脊髄誘発電位検査」を積極的にこなしていること、せほね（脊椎）の安全な手術のため「脊髄モニタリング」を併用していること、「ナビゲーションシステム」による人工膝関節置換術、術前後の患者さんの身体機能やQOL（生活の質）を多面的に評価していることがあります。これらはどうも治療の質を高めることにつなが



ればと考えています。外来診療の第一歩として重要なことがあります。患者さんの病気の歴史（既往歴）や現在内服しているお薬の内容などの患者さんの情報を整理して確認することで「かかりつけ医からの紹介状」や「お薬手帳」を持参していただきますと、とても助かります。皆様のご協力をお願いいたします。

災

害現場では十分な医療行為が行えない状況にあり、

既

に全国には多くのDMATチームがあります。しかしこれまで秋田県北部では結

成されておらず、この度、5月16日から4日間、兵庫県災害医療センターでの隊員養成研修会を修了して、我が大館市立総合病院にもDMATチームが誕生しました。

DMAT (Disaster Medical Assistance Team) とは、大地震や航空機・列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆け付け、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームのことです。

福知山線の列車事故、そして昨年の東日本大震災などでその活動は広く知られるようになってきましたが、まだまだご存知ないかたも多いことでしょう。



DMAT

つて
ご存知

ですか？

何

よりもDMATチームの出席(災害)がありませんように(願)。


い つ起こるか分からないのが災害です。皆様も日頃から避難場所の確認や食料の確保など備えをお忘れなく。

そんな中で被災者の重症度を短時間で判定し、救急治療を行い、必要に応じて適切な医療機関への搬送を行う。それが我々DMAT5名の任務です。


今後、発生が予想されている首都圏や東海地域の地震など、遠方での災害の際は迅速に駆け付けられるように備えておく必要があります。

そして万が一、大館地域に何らかの災害が起きた際には、我々が中心となって地域住民の方々の安全を確保できるよう、総合病院の体制を充実させると共に、我々も知識や技術の維持に努めてまいります。


泌尿器科 なりた さとし
成田 知
地域の皆さんと協力し、よりよい病院をめざします。




眼科 いとう ただし
伊藤 忠
地域の眼科医療に貢献できれば幸いです。




研修医 くぼ かずとし
久保 一利
大館の医療に貢献できるよう、日々精進します。




泌尿器科 いまにし けんご
今西 賢悟
よろしくお願いたします。




耳鼻咽喉科 まきなえ きみとし
蒔苗 公利
おはなやのどがづらい時は、耳鼻科の吸入ですっきり、みんなで元気になるましょう☆！耳鼻科はいつもみんなのMI☆KA☆TAです☆！




研修医 くぼ かほり
久保かほり
2年目研修医です。まだまだ修行中ですが、精一杯がんばります。




脳神経外科 おおくぼ あつや
大久保敦也
地域の脳卒中医療に貢献できるように頑張ります。




耳鼻咽喉科 のろ まさし
野呂 雅司
部長の蒔苗先生の下で、大館の耳鼻科医療を支えているようにがんばります。




研修医 さかくち たかし
坂口 崇
1年目研修医です。地域のみなさまに少しでも貢献できるように、日々精進していきたいです。よろしくお願いたします。




脳神経外科 しまだ なおや
島田 直也
少しでも地域医療に貢献できるようにがんばります。




麻酔科 むらかわ とくあき
副院長 **村川 徳昭**
地域医療のお役に立てるように頑張りたいと存じます。




研修医 あべ さきこ
阿部 咲子
1年目研修医です。患者様の役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。




産婦人科 たかはし ひでみ
副院長 **高橋 秀身**
日常診療の傍ら、医療安全のために頑張っております。




麻酔科 たかひら ようこ
高平 陽子
大館市民のみなさまのためにがんばりたいと思います。




研修医 みうら ともや
三浦 智也
よろしくお願いたします。




産婦人科 かさいごういちろう
葛西剛一郎
秋田県北部の周産期、婦人科、不妊治療をになう「かなめ」となるよう頑張りたいと思います。




歯科口腔外科・矯正歯科 ささきともかず
佐々木知一
地域の口腔外科疾患、矯正歯科治療に頑張ります。



研修医 わかさ ゆうすけ
若狭 悠介
一生懸命がんばります。よろしくお願いたします。



産婦人科 かさいあきこ
葛西亜希子
「満足度の高い医療の提供」を目標として頑張りたいと思います。




医師紹介


扇田病院

内科・外科 眼科


産婦人科 まつした ようこ
松下 容子
地域医療に貢献出来るように一生懸命頑張りたいと思います。




内科・外科 おおもと なおき
院長 **大本 直樹**
地域の皆様に信頼される病院を目指し、急性期から慢性期まで幅広い視点で診療していきます。




内科・外科 たかはしくみこ
高橋久美子
頑張りますのでよろしくお願いたします。




産婦人科 たむら りょうすけ
田村 良介
まだまだ新米ですが、大館の産婦人科医療に少しでも貢献できるようがんばります。




内科・外科 ふもと こうへい
副院長 **麓 耕平**
よろしくお願いたします。




内科・外科 あじみねたくま
安次嶺拓馬
よろしくお願いたします。




眼科 さとう しょうこ
佐藤 章子
昨今の日本の眼科医療のレベルに遅れることなく患者さんに提供できるように、後輩1名、看護スタッフ共々日々努力しております。



内科・外科 たなか あきひこ
田中 明彦
よろしくお願いたします。



眼科 わたなべえりこ
渡部永利子
よろしくお願いたします。



医師紹介

総合病院 呼吸器・循環器内科 消化器・血液・腫瘍内科 内分泌・代謝・神経内科
 神経精神科 小児科 外科 整形外科 泌尿器科 脳神経外科 産婦人科
 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 歯科口腔外科・矯正歯科

呼吸器・循環器内科

はやし **林** まさよし **昌功** こすぎ **小杉** たくお **拓生**
 いとう **伊藤** たいへい **太平**

内分泌・代謝・神経内科 たなべじゅ たろう **田辺壽太郎**

3年ぶりに大館へ帰って参りました。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

外科 よしはら **吉原** しゅういち **秀一**

常に最新医療を提供できるよう、スタッフ一同とともがんばっております。悩みごとをかかえこまないよう気軽に相談してください。

呼吸器・循環器内科 しぶたに **澁谷** しゅうじ **修司**

よろしくお願ひします。

神経精神科 なかがみ **中神** たく **卓**

県北の精神医療に尽力したいと思ひます。我慢せず、早めの受診をお願ひします。

外科 おおいし **大石** すずむ **晋**

院内の多職種のスタッフと連携し、チーム医療で診療してまいります。

外科 のざき **野崎** つよし **剛**

外科チームの一員としてがんばります。よろしくお願ひします。

消化器・血液・腫瘍内科 よしはら **吉原** あやこ **綾子**

消化器癌で失われる命がすこしでも減るように仕事を続けたいです。

神経精神科 おだぎり **小田** けん **元**

皆様のこころの健康を保つお手伝いをさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

外科 なら **奈良** まさき **昌樹**

心配な事はいつでも相談して下さい。

消化器・血液・腫瘍内科 おがさわら **小笠原** ひとし **仁**

消化器病、血液病、癌化学療法でのセカンドオピニオンも受け付けております。

神経精神科 はたけやま **富士** まきこ **牧子**

大館の地域医療のためにがんばりたいと思ひます。

外科 はせべ **長谷部** たつや **達也**

大館に来て2年目になりました。よろしくお願ひいたします。

消化器・血液・腫瘍内科 あいさわ **相澤** ひろし **弘**

地域のニーズにこたえられるようがんばりたいと思ひます。

小児科/感染制御室 たかはし **高橋** よしひろ **義博**

小児科とともに、予防接種(成人も含めて)、地域感染対策、エイズ診療も担当しています。

外科 よしだ **吉田** えり **枝里**

よろしくお願ひします。

消化器・血液・腫瘍内科 やま **山居** きよのり **聖典**

地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

小児科 たんだい **丹代** さとる **諭**

秋田県北部の小児医療を支えます。

整形外科 よこやま **横山** とおる **徹**

地域の皆さんといっしょに、よりよい整形外科医療をつくっていきたくと思ひます。

消化器・血液・腫瘍内科 はやみず **速水** しろう **史郎**

地域医療に貢献できる消化器内科医になるのが目標です。よろしくお願ひ致します。

小児科 つかわ **津川** こうじ **浩二**

小児医療に少しでも貢献できるよう、がんばりたいと思ひます。

整形外科 たけうち **竹内** かずなり **和成**

よろしくお願ひします。

内分泌・代謝・神経内科 やしろ **八代** ひとし **均**

副院長 栄養科とタイアップし食事療法の基本から指導しています。

小児科 えち **越後谷** あかね **明音**

みんなが笑顔になれるよう、明るく楽しく前向きに仕事をしたいと思ひます☆

整形外科 じん **神** ひろみち **裕道**

整形外科、特に手の疾患でお困りでしたら、ご相談下さい。

内分泌・代謝・神経内科 いけじま **池島** しん **進**

地域医療に貢献出来るよう頑張りたいと思ひます。

外科 たておか **院長 館岡** ひろし **博**

汝何の為にそこにありやを胸に、自分を見つめ、自分は地域医療に何を貢献出来るか問ひながら頑張りたいと思っております。これからもよろしくご指導、ご鞭撻下さい。

整形外科 のうみ **能見** しゅうや **修也**

大館市民のみなさまのためにがんばりたいと思ひます。よろしくお願ひします。

扇田病院です!

第4病棟

第4病棟（療養病床）の紹介

国の方針により各病院は入院病床を一般病床と、療養病床に区別して届出することが義務付けられ、当院では第4病棟を「医療型療養病床」として運用しています。

一般病床は治療が終了次第、退院となりますので長期間の入院療養はできませんが、療養病床は病気が急性期から慢性期に移行し、体力や日常生活動作が充分回復しない場合などに療養するのが目的の病床です。

現在、患者さんのほとんどは寝たきり状態で身の回りのことが自分でできませんが、病状が安定して退院できることを目標としています。

病棟スタッフは、安心して療養できるように環境を整えながら、人工呼吸器や気管切開、胃ろうなど医療処置などに安全に対応できるように看護を提供しています。



夏祭りの様子です



また、季節を感じていただくため8月は「夏祭り」、12月には「クリスマス会」を計画し、患者さんやご家族の皆様とのふれあいの機会としています。

さらに、退院後の生活に様々な不安をお持ちの患者さんやご家族のかたに、看護師や医療相談室のスタッフとともに、介護サービスや在宅での生活指導も行っていますのでご遠慮なく相談してください。

扇田病院発



自宅での療養生活をお手伝いします

当院では、地域密着型病院として介護保険居宅サービスの訪問診察及び訪問看護を行っています。今回は訪問看護についてご紹介します。

現在、通院が困難なかたや自宅療養を希望するかた約50人が利用しており、介護保険サービスの枠内で週1回～月1・2回訪問看護を行っています。

看護内容は、血圧・脈拍・体温測定と状態観察等です。ご家族の負担の多い医療処理の気管切開をしているかたのカニューレ(呼吸を助けたり、薬を注入するために体内にさしこむ管)の交換、褥瘡(床ずれ)の観察や処置など、また、在宅酸素療法をうけているかたが正しい使い方しているか等のお世話もしています。

ご家族への介護方法の指導や不安なこと、心配なことなどの相談にも対応し患者さんやご家族のかたが安心して自宅での療養生活を継続できるようにお手伝いしております。

サービスを利用されるかたは、介護保険要介護認定を受ける必要があります。その際は、医療相談室までご連絡をお願いします。



外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間の変更をする場合があります。

～総合病院～

受付時間	初診 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器・循環器内科	新患	10:30まで	10:30まで	10:00まで	10:30まで	10:30まで	呼吸器の新患は月・火・金。新患は原則として紹介状が必要です。
	再来			休診			
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。
内分泌・代謝神経内科			甲状腺診療		甲状腺診療	10:00まで	10:00まで
小児科							
神経精神科							
外科							
産婦人科							
眼科		10:00まで	9:30まで	10:00まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。
耳鼻咽喉科							
整形外科		10:00まで					専門外来は予約制。
泌尿器科		予約のみ					
皮膚科				休診	休診		
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。
歯科口腔外科・矯正歯科							再来は予約制。

※新患はできるだけ紹介状の持参をお願いしています。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科・外科	午前	8:30～11:00					
	午後	急患のみ					
	夕やけ(午後)	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	
整形外科	午前	休診	休診	8:30～11:00	休診	8:30～11:00 (新患・予約のみ)	
耳鼻咽喉科	午前	休診	8:30～11:00	休診	休診	休診	
眼科	午前	8:30～11:00					
	午後	検査のかたのみ					

来院の際は 公共交通機関の利用を

総合病院では7月下旬より、国道7号線側（西側）の駐車場の拡張工事を行っています。9月半ばまでの工事期間中は駐車場が狭くなっていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ 総合病院総務課 ☎42-5370

総合病院では、引き続き「病院ボランティア」を募集しています。

内容は、

- ①外来の案内
- ②再来受付機の操作案内
- ③車椅子の介助 などです。

患者さんが快適に受診できるように、お手伝いをしてみませんか？

お申し込み、お問い合わせは、相談支援センター（☎42-5370 内線 5245）まで。ご連絡をお待ちしています。



患者さんとそのご家族が病気と向き合いながら情報交換を行う場として、患者会が行っている取り組みについて紹介します。

大館地区がん患者友の会(大館虹の会)

当会は、平成21年にがんを患った患者同士の相互交流や情報交換などを目的として発足しました。地域がん診療連携拠点病院である総合病院において、「がんサロン」を開催させていただいているほか、がん患者の生活の質の向上を目指して次のような活動を行っております。

①がんサロンの開催

毎月第3水曜日 13:00～15:30
市立総合病院 3F ギャラリー

がん疾患が気になる方・治療中のかた・体験者・ご家族などが集まり語り合える場所です。

怖い・悲しい・不安・とまどい、そして、病気の理解、治療法、薬による副作用、医療機関の選び方などスタッフ・看護師による相談・情報提供などを行っています。



②会員による例会

毎月第3水曜日 14:00～16:30
市立総合病院 管理棟4F 第1会議室

会員の交流と情報交換・がんについての学習会・講話会・タオル帽子の作成配布・闘病体験の発表・がんの予防と早期発見に向けた啓発活動などを行っています。

③森林浴セラピーの実施

心身のリフレッシュと親睦を兼ねたレクリエーションを毎年2回(春・秋)行っています。今年度は6月17日に八幡平・^{もっこだけ}畚岳登山を実施しました。

④国のがん対策基本法や県のがん対策推進計画に基づいた活動として

がんの予防と早期発見に向けた啓発活動・医療ケアの向上に向けた提案や社会復帰への支援活動なども微力ながら行っています。

いつでも市民の皆様の
ご参加をお待ちしています。

問い合わせは

TEL 0186-42-4388 土門
0186-55-0251 宮嶋 まで

がん診療市民医学講座開催

去る6月2日(土)に、中央公民館で「肺がんってどんな病気?」をテーマにした市民医学講座を開催しました。地域がん診療連携拠点病院である総合病院が、市民の皆さんに「がん」という病気に対する理解を深めていただくために毎年度二回行っているものです。

今年度の第一回目の講座では、総合病院 八代均副院長が「禁煙治療」について、特別講演として弘前大学医学部呼吸器外科 對馬敬夫診療准教授が「肺がん治療」について解説を行い、最後に参加した市民の皆様が疑問に思っている点などについて質疑応答を行いました。

今後も、皆様の関心が高い分野を選んで開催する予定です。



編集後記

広報第6号でお知らせしたとおり、扇田病院のロゴマークが完成し総合病院と二つのマークが揃い踏みとなりました。これからはますます両病院間の連携が必要な時代になります。実際の病院の立地は離れていますが、表紙の様に心は近く、スタッフ一同笑顔で協力し合い大館の健康を守って行きたいと思っております。

大館の夏は短いですが、それだけに輝きも大きいこの季節。みんなが元気にすごせますように！
編集委員長 蒔 苗 公 利